

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年8月15日(2013.8.15)

【公表番号】特表2012-529063(P2012-529063A)

【公表日】平成24年11月15日(2012.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-048

【出願番号】特願2012-513336(P2012-513336)

【国際特許分類】

G 03 B	21/14	(2006.01)
G 03 B	21/00	(2006.01)
G 02 B	26/10	(2006.01)
G 02 F	1/13	(2006.01)
G 02 F	1/13357	(2006.01)
G 02 B	27/26	(2006.01)

【F I】

G 03 B	21/14	A
G 03 B	21/00	D
G 03 B	21/00	Z
G 02 B	26/10	C
G 02 F	1/13	5 0 5
G 02 F	1/13357	
G 02 B	27/26	

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月28日(2013.5.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

投射システムであって、

画像またはビデオ信号を受信するためのインターフェースと、

複数のレーザダイオードを含む光源であって、前記複数のレーザダイオードは第1のレーザダイオードを含み、前記第1のレーザダイオードは、非極性または半極性であり、かつ、窒化ガリウム材料から作製される、光源と、

前記光源に電気的に接続された電源とを含む投射システム。

【請求項2】

前記第1のレーザダイオードは、非極性配向によって特徴付けられる青色レーザダイオードであることを特徴とする請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

前記第1のレーザダイオードは、半極性配向によって特徴付けられる青色レーザダイオードであることを特徴とする請求項1に記載のシステム。

【請求項4】

前記第1のレーザダイオードは、非極性配向によって特徴付けられる緑色レーザダイオードであることを特徴とする請求項1に記載のシステム。

【請求項5】

前記第1のレーザダイオードは、半極性配向によって特徴付けられる緑色レーザダイオードであることを特徴とする請求項1に記載のシステム。

ドであることを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記複数のレーザダイオードは、第 1 のレーザダイオード、第 2 のレーザダイオードおよび第 3 のレーザダイオードを含むことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記第 1 のレーザダイオードは、490 nm ~ 540 nm の波長範囲で操作可能な緑色レーザダイオードで、半極性の { 20 - 21 } 面配向を特徴とする請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記緑色レーザダイオードは、投射方向が実質的に c 方向であるキャビティ配向とするストライプ領域を有する請求項 7 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記第 2 のレーザダイオードは、490 nm ~ 540 nm の波長範囲で操作可能な緑色レーザダイオードで、極性 c 面配向を特徴とする請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記第 2 のレーザダイオードは、430 nm ~ 480 nm の波長範囲で操作可能な青色レーザダイオードで、極性 c 面配向を特徴とする請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 11】

光エンジンであって、

駆動信号を受信するための通信インターフェースと、

複数のレーザダイオードを含む光源であって、前記複数のレーザダイオードは第 1 のレーザダイオードを含み、前記第 1 のレーザダイオードは、非極性または半極性であり、かつ、窒化ガリウム材料から作製される、光源と、

前記光源に電気的に接続された電源とを含む光エンジン。

【請求項 12】

前記複数のレーザダイオードを選択的に切り換える制御モジュールをさらに含むことを特徴とする請求項 1\_1 に記載の光エンジン。

【請求項 13】

前記複数のレーザダイオードのうち少なくとも 2 つからの出力を組み合わせるための光学部材をさらに含むことを特徴とする請求項 1\_1 に記載の光エンジン。

【請求項 14】

—以上の液晶オンシリコンパネルを含むことを特徴とする請求項 1\_1 に記載の光エンジン

。

【請求項 15】

前記複数のレーザダイオードは、第 1 のレーザダイオード、第 2 のレーザダイオードおよび第 3 のレーザダイオードを含むことを特徴とする請求項 1\_1 に記載の光エンジン。

【請求項 16】

前記第 1 のレーザダイオードは、490 nm ~ 540 nm の波長範囲で操作可能な緑色レーザダイオードで、半極性の { 20 - 21 } 面配向を特徴とする請求項 1\_5 に記載の光エンジン。

【請求項 17】

前記緑色レーザダイオードは、投射方向が実質的に c 方向であるキャビティ配向とするストライプ領域を有する請求項 1\_6 に記載の光エンジン。

【請求項 18】

前記第 2 のレーザダイオードは、490 nm ~ 540 nm の波長範囲で操作可能な緑色レーザダイオードで、極性 c 面配向を特徴とする請求項 1\_5 に記載の光エンジン。

【請求項 19】

前記第 2 のレーザダイオードは、430 nm ~ 480 nm の波長範囲で操作可能な青色レーザダイオードで、極性 c 面配向を特徴とする請求項 1\_5 に記載の光エンジン。

